

利用報告書作成依頼

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション
厚岸臨海実験所及び室蘭臨海実験所共同利用協議会委員長
本村泰三

各位

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭・厚岸臨海実験所にて共同利用実習をしていただいた皆様には次項以降の臨海実験所利用報告書の作成をお願いしております。活動終了後に必要事項をご記入の上、各実験所の担当教員にご提出下さい。報告項目にある2.「活動のスケジュールおよび参加人数」の欄は各活動日（一日目、二日目などと記載）の活動項目と参加人数を箇条書きでご記入いただけますようお願いいたします。また、もしできましたら、活動の様子の項に活動中の写真数枚をご貼付の上、各写真に対応する説明文を記していただければ幸いです。なお、当ステーションでは利用の実態・概要を一般の方々にも広く周知するためにホームページ等において、承諾をいただいた方の報告書を公開しております。以下の報告内容について公開をご希望されない場合は担当教員までお知らせ下さい。

問い合わせ先

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション
厚岸臨海実験所
頼末武史

Tel: 0153-52-2056

Email: yorisue@fsc.hokudai.ac.jp

室蘭臨海実験所

田中厚子

Tel: 0143-22-2846

Email: tanaka@fsc.hokudai.ac.jp

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション

(室蘭・厚岸) 臨海実験所利用報告書 (共同利用実習)

以下の活動内容について報告します。

受付番号：

活動(実習)名：厚岸周辺の自然環境に関する実習

活動期間：2016年7月9日～7月10日

1. 活動内容の概要

大黒島のゼニガタアザラシの生態調査および海洋観測に必要とされる、基本的な調査方法や、当該地域の生態の特徴に関する解説、水鳥生態状況、別寒別牛川周辺の川辺における生態などの説明を受け、当該地域における内陸部と周辺海域の生態的関連性について理解を深めた。

2. 活動のスケジュールおよび参加人数

7月9日：みさご丸にて大黒島へ行き、ゼニガタアザラシの生態観察および海洋調査のデモンストレーション。実験所に帰着後、当該実験所で行われている研究紹介および厚岸周辺の生態に関する解説。

7月10日：愛冠岬より大黒島および岬周辺の生態系の観察、Deer Line や針葉広葉混交林などの森林生態学の解説、北大博物館視察、水鳥観察館にて湿地を中心とした鳥類の生態に関する解説、別寒別牛川の中流地点にて河川周辺の生態に関する解説。

参加人数：学生9名、同行教員2名(帯広畜産大学)

3. ご感想・ご要望

仲岡先生や関係者皆様のお陰で、大変内容の深い実習を行うことができました。農学系学生が中心で、生態学に関心を持っている学生もおり、十分に満足のいく解説と実習構成を提供頂きました。心より、お礼を申し上げます。今後も機会があれば、是非とも、同等の実習をお願いしたいと強く願っています。

氏名： 小疇 浩

所属： 食品科学研究部門

職名： 教授

活動の様子



みさご丸での海洋調査のデモンストレーション



実験所での研究紹介



愛冠岬での生態系に関する解説



愛冠岬での記念写真



水鳥観察館での解説



別寒別牛川での生態に関する解説